

## 裁判員経験者との意見交換会開催概要（令和5年2月27日、宇都宮地裁）

裁判員経験者にお越しいただき、以下のような貴重なご意見を伺いました（参加者：裁判員経験者8名、裁判官3名、検察官、弁護士各1名）。

### 全体的な感想、印象

事件や裁判について自分が何も知らないからこそ参加して良かったと思っている。

司法のシステムが分かったし、事件報道への見方が変わった点でも良い経験になった。

参加してからニュースで取り上げられる事件について家族で話をする機会が増えた。

裁判員制度に興味があった。会社の後押しもあり、前向きな気持ちで参加できた。

選ばれたときはびっくりした。精神的にきついときもあったが、裁判官のサポートもあり最後まで務めることができた。

貴重な経験ができた。ただ、当時は時間の余裕があったので支障なく参加できたが、仕事があればやはり仕事優先になってしまうところはあるのではないかな。

### 18歳、19歳の方々の参加について

そもそも制度の認知度が低いと思うので、18歳、19歳の人達にも届くようもっと宣伝すべきではないかな。

裁判所の見学や模擬裁判等の取組について、インスタ等にあげてはどうか。

学業と裁判の両立は大変だと思うし、人が亡くなっているような事案では精神的負担が大きい面もあると思う。一定の配慮やフォローが必要だと思う。

カジュアルになり過ぎてはいけないが、オンライン参加を可能にするなどして、心理的抵抗を軽くすることは考えられないかな。

18歳、19歳はもう十分大人。参加することに違和感はない。

仮に社会人経験のない段階で参加していたら、今回と同じような議論ができただろうと思う。負担が重いところがあるのではないかな。

## 審理、評議などに関する感想

検察官作成の資料（メモ）が、工夫してまとめられていて分かりやすかった。評議はもう少し時間があればと思うこともあった。

弁護士の作成した資料が長くて分かりづらかった。席の位置の関係か分からないが、検察官と弁護士の声が聞き取りづらかった。

専門家証人が状況を客観的、専門的に説明してくれて非常に参考になった。

## これから裁判員になられる方へのメッセージ

今後の人生にも活かせるのではないかと  
思うので、そこまで難しく考えず、まず  
参加してみしてほしい。

どうやったら再犯を防げるのだろうと考えたりするようになった。裁判員にならなければそのようなことは考えなかったと思うので、機会があればぜひ参加してほしい。



お忙しい中参加いただき、ありがとうございました。

